

二〇〇八年三月二六日（伊丹郷・昆陽池）

ふる里はあの山向かふ鳥雲に	菜
歌碑めぐり日永の昆陽にあそびけり	々
葦の角殺生禁ずと標石	〃
せせらぎの風に吹かるる雪柳	〃
芽柳や長き息止め鳥潜る	ぼんこ
水温む人影に鯉集まり来	〃
ジエット機の音にも慣れて残る鴨	わかば
春愁や城趾の井戸に土詰まる	けんいち
ひびわれし女郎の墓や春寒し	宏 虎
きらめける池の面かすめ初つばめ	満 天
	はく子

吟行句会みのる選

二〇〇八年三月二六日（伊丹郷・昆陽池）